

3 安芸市の 地域特性

第3章 安芸市の地域特性

1 安芸市の概要

安芸市は、高知県東部に位置しており、県都高知市から東へ約 40km の位置にあります。北は四国山地に連なり香美市、馬路村、徳島県那賀郡那賀市に接し、東は安田町、西は香南市、芸西村に接し、南は東西 18.6km の海岸線により土佐湾に面しています。

山が深く市域の全体の 89%を山林が占め、そこを源流域とした清流「安芸川」、「伊尾木川」が市内中央部を南流し、下流域には肥沃な安芸平野が広がっています。

温暖な気候や日照時間が長いことなどの立地特性を生かした施設園芸野菜やユズを主作物とする農業が基幹産業となっています。

その中でも、令和元（2019）年度におけるナスの作付面積は 131ha、生産量は 1 万 7 千 t となっており、日本有数のナス産地となっています。

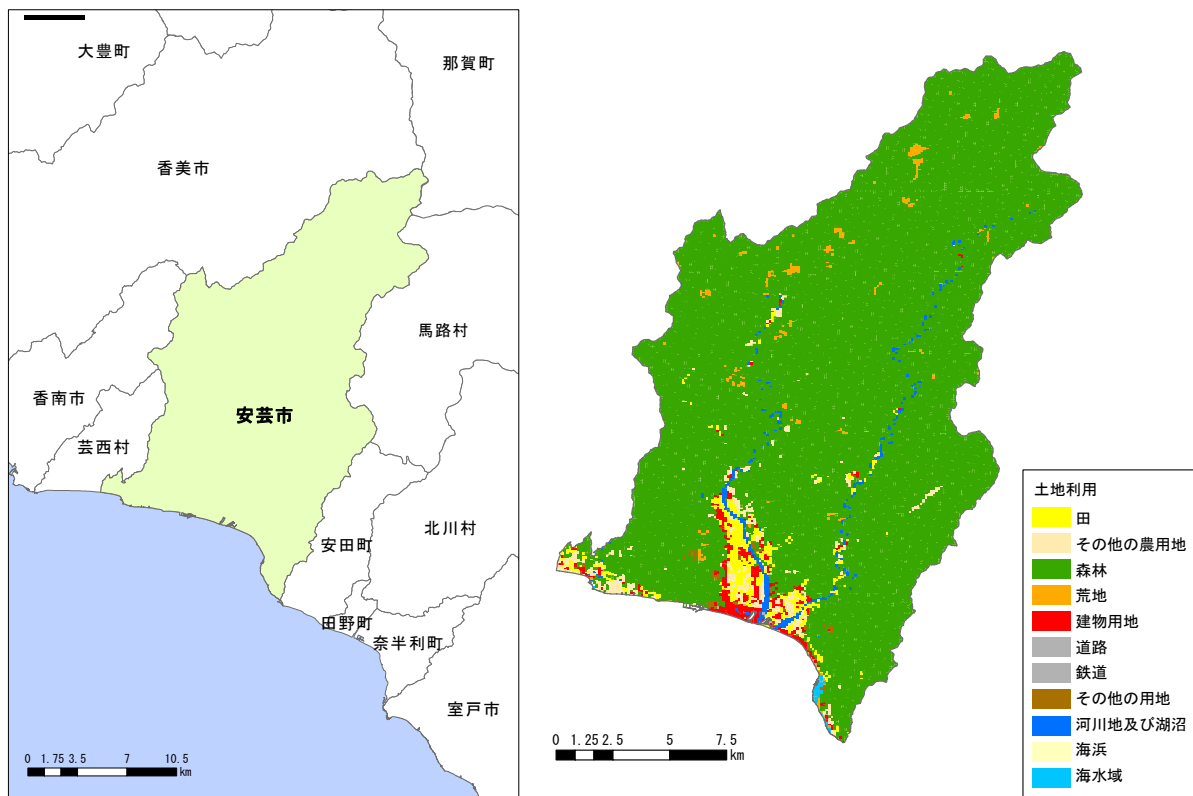


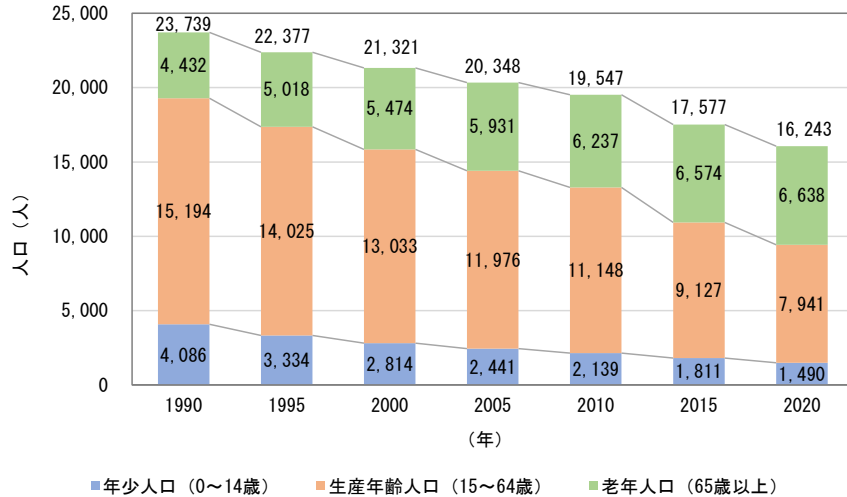
図 3-1 安芸市の位置・土地利用

2 社会的特性

2.1 人口・世帯

a) 人口推移

本市の人口は、平成2（1990）年～令和2（2020）年にかけて減少しており、令和2（2020）年の人口は16,243人です。年少人口の減少、老年人口の増加による少子高齢化が課題となってきています。

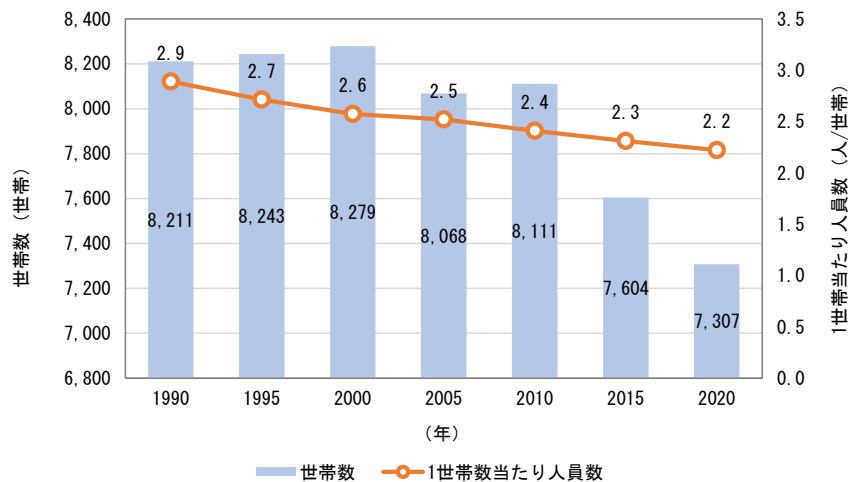


出典：総務省統計局「国勢調査」

図 3-2 人口の推移

b) 世帯数の推移

本市の世帯数は、平成2（1990）年～平成12（2000）年にかけて上昇傾向ですが、平成17（2005）年から減少に転じ、平成27（2015）年に大幅に減少しています。また、1世帯当たりの人員数は平成2（1990）年～令和2（2020）年にかけて約1人/世帯減少しています。若年層の流出により、独居を含む高齢者世帯が増加したことが要因として考えられます。

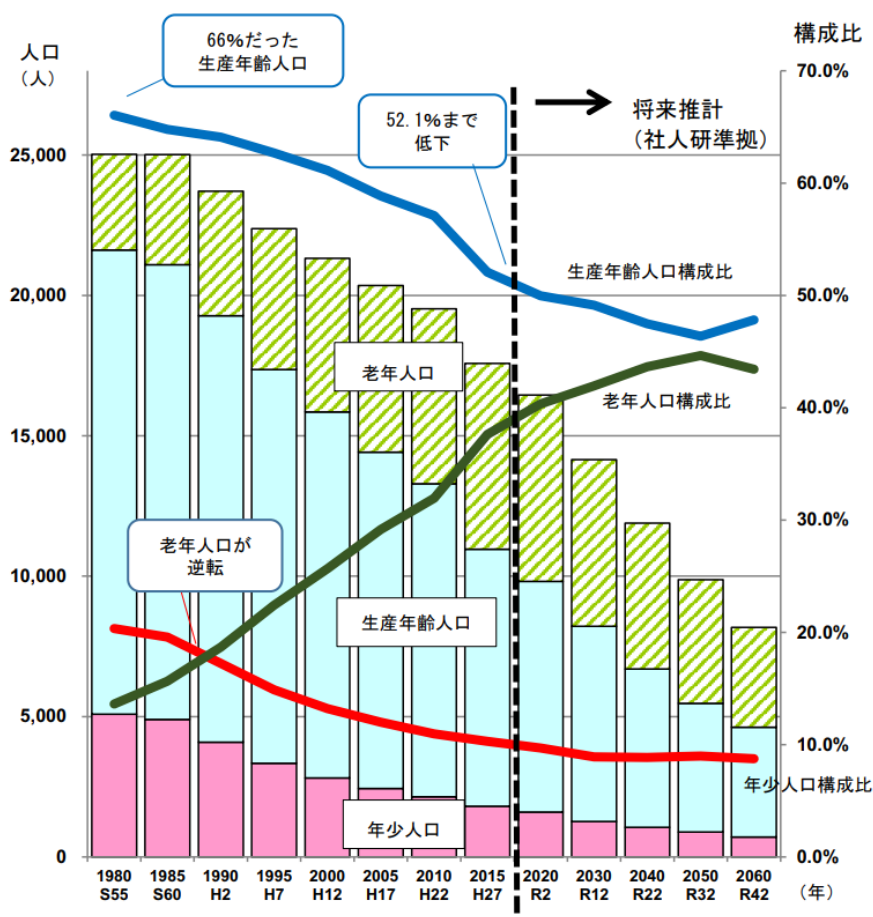


出典：総務省統計局「国勢調査」

図 3-3 世帯数の推移

c) 将来推計人口

安芸市「第2期安芸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」によると、本市の人口減少は今後も続く予想されており、令和42（2060）年には約8,176人になると予想されています。



出典：安芸市「第2期安芸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

図 3-4 将来人口の展望

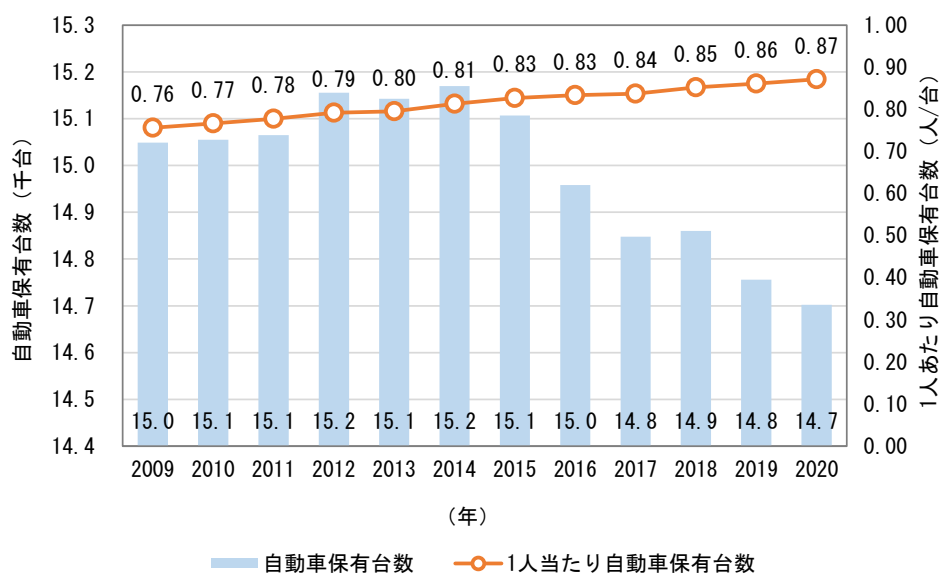
表 3-1 将来推計の概要

シナリオ	概要
社人研準拠推計	国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した推計
シミュレーション①	社人研準拠推計をもとに、合計特殊出生率の上昇のみで人口減少抑制を目指す推計
シミュレーション②	社人研準拠推計をもとに、移動率と合計特殊出生率双方の上昇で人口減少抑制を目指す推計

2.2 交通

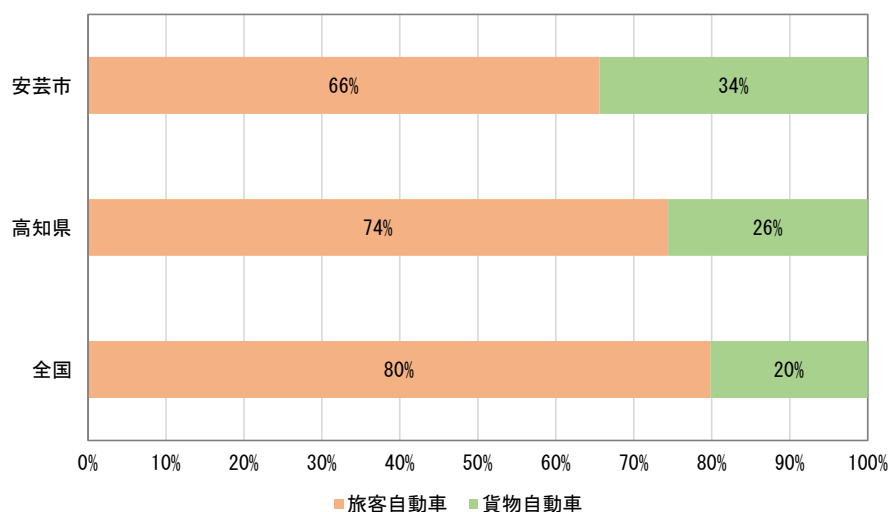
(1) 自動車

本市の自動車保有台数は平成 24（2012）年より増加傾向にありましたが、平成 27（2015）年に減少に転じました。一方で、一人当たり保有台数は増加傾向にあることから、自動車依存の傾向が高まっていると考えられます。また、旅客・貨物自動車の保有割合をみると、全国や高知県よりも貨物自動車の割合が高くなっています。



出典：環境省「自治体排出量カルテ」を基に作成

図 3-5 自動車保有台数の推移

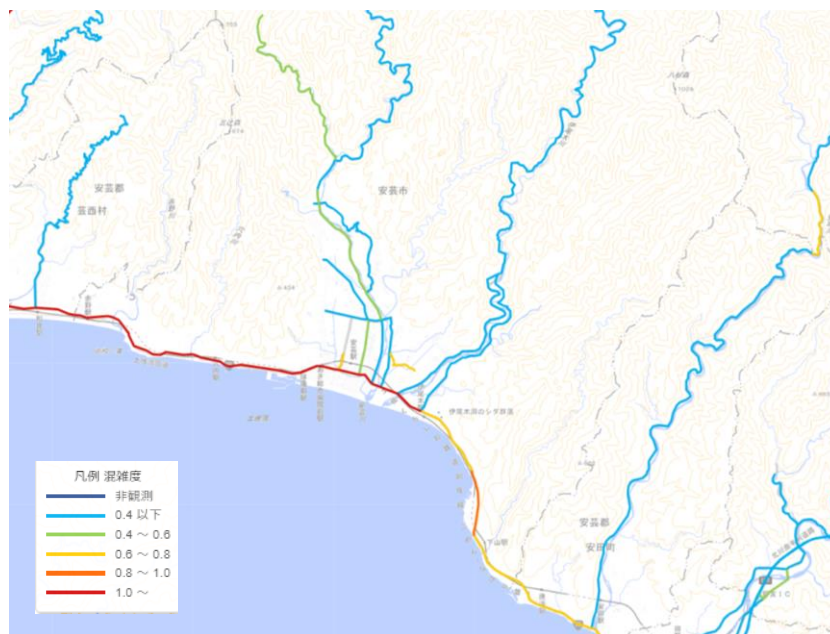


出典：環境省「自治体排出量カルテ」を基に作成

図 3-6 旅客・貨物自動車の保有割合（2020年）

(2) 交通状況

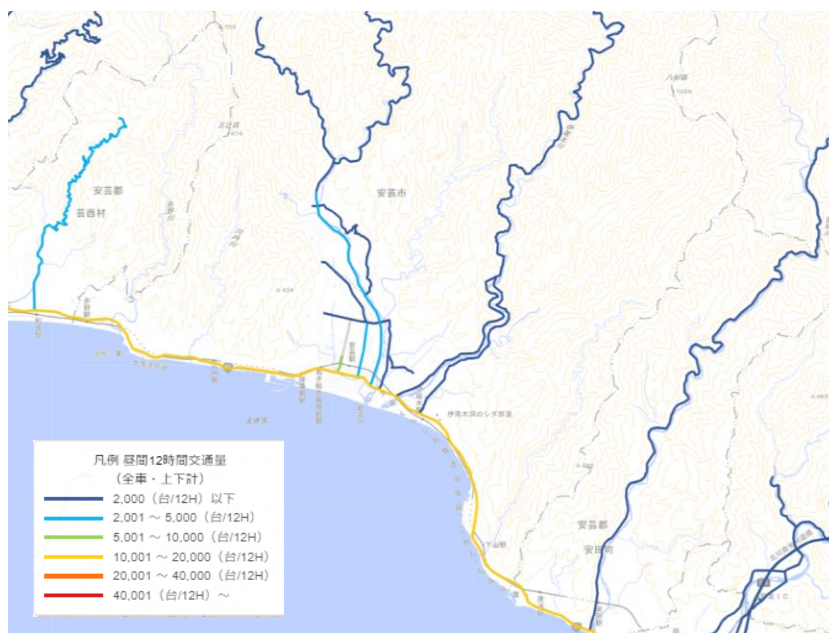
一般国道 55 号は本市における最も基幹的な道路です。日常の市民生活における重要度はもちろん、現状では唯一の広域幹線道路として、あらゆる産業活動を支える道路となっています。そのため混雑解消などの整備をすることが必要となります。



出典：国土交通省「令和3年度 一般交通量調査結果WEBマップ（可視化ツール）」

※混雑度＝交通量（台/12h）/交通容量（台/12h）

図 3-7 混雑度



出典：国土交通省「令和3年度 一般交通量調査結果WEBマップ（可視化ツール）」

※昼間12時間交通量：午前7～午後7時に交通量観測地点を通過した自動車の台数

図 3-8 昼間12時間交通量

(3) 公共交通

a) 公共交通の概要

広域的かつ幹線的な公共交通として、土佐くろしお鉄道が運行する南国市と奈半利市を結ぶ鉄道（ごめん・なはり線）があります。

路線バスの運行は、高知から安芸間をとさでん交通、安芸から室戸・甲浦間及び馬路間を高知東部交通が運行しています。

元気バスは、土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線の開業にあわせて平成 14 年 7 月に運行を開始し、東川・畑山など 7 路線で運行しています。

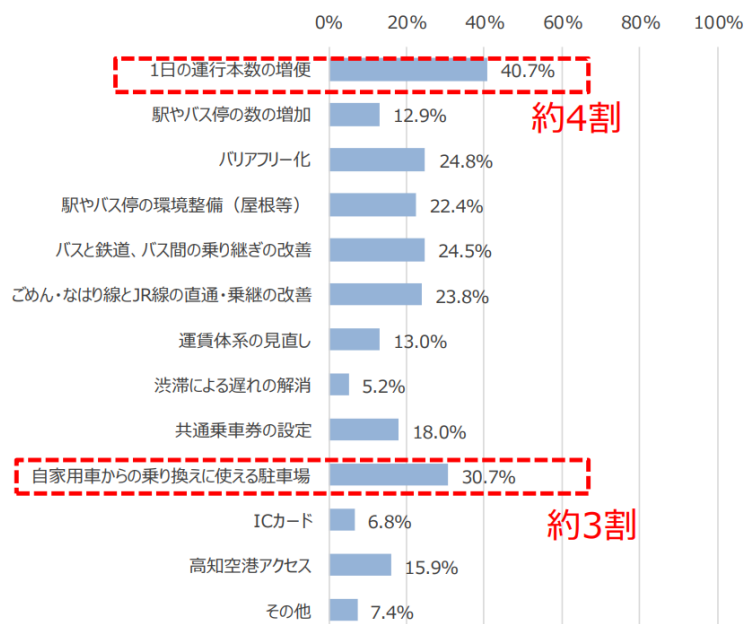


出典：安芸市HP

図 3-9 「高知東部のローカルバスと鉄道 のんびりのってこルートマップ」

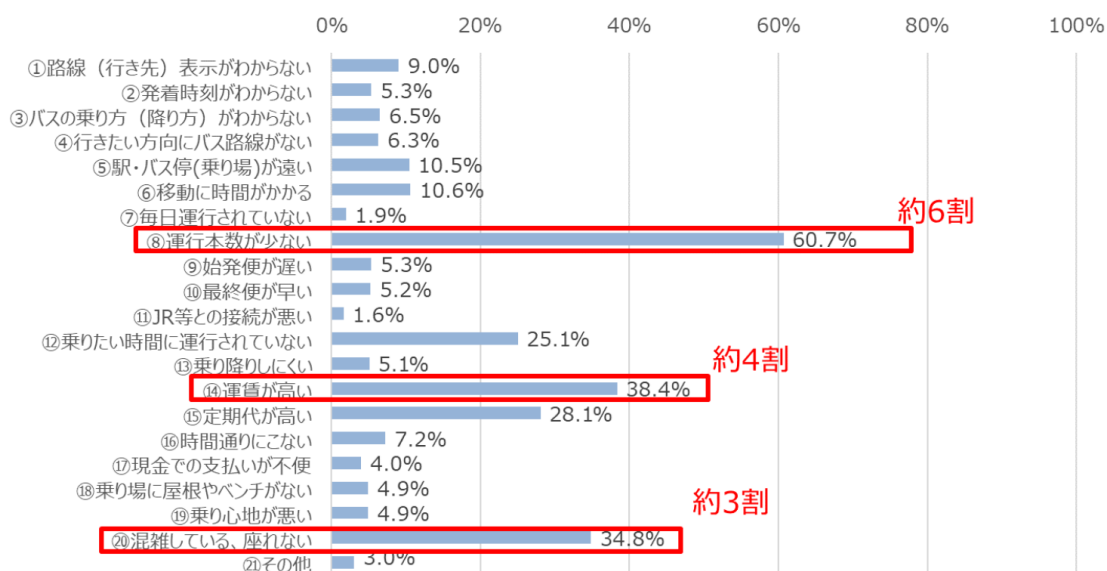
b) 公共交通に対する市民の意向

「高知県東部広域地域公共交通網形成計画」策定の際に、公共交通の利用実態やニーズ等の把握するために交通弱者である高齢者、高校生や来訪者などにアンケート調査をした結果、公共交通に対する不満として「運行本数が少ない」という意見が最も多く挙げられました。



出典：「高知県東部広域地域公共交通網形成計画 改訂版」

図 3-10 公共交通を見直す場合に重視すべき点（高齢者アンケート）



出典：「高知県東部広域地域公共交通網形成計画 改訂版」

図 3-11 公共交通に対する不満な点（高校生アンケート）

2.3 観光・文化

(1) 観光資源

本市には、武家屋敷の面影が残る土居廓中（重要伝統的建造物群保存地区選定）や野良時計、三菱グループ創業者の岩崎彌太郎生家（登録有形文化財）など、歴史と文化を感じさせるものがあります。また、“童謡・書道・陶芸のまち”としても知られ、市内 10 ヶ所に童謡曲碑が建立されているほか、安芸城跡には公設として全国初の書道美術館があります。そして、200 余年の歴史を誇る陶芸の里・内原野には、陶芸館、ガラス工房があります。さらに、阪神タイガースがキャンプを行う市営球場があり、それら優れた観光資源を有する本市には、毎年 27 万人前後の観光客が訪れています。



出典：一般社団安芸市観光協会HP

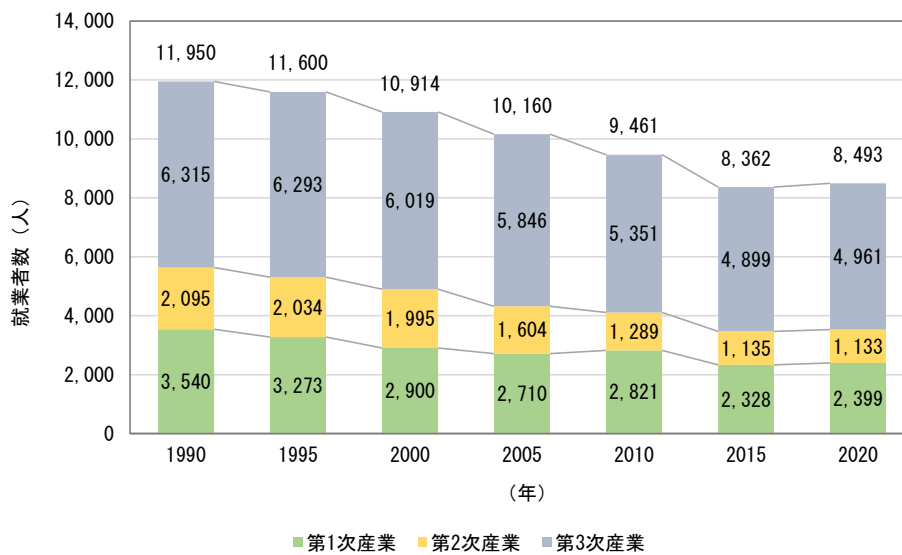
図 3-12 安芸市の主な観光資源

3 経済的特性

3.1 産業

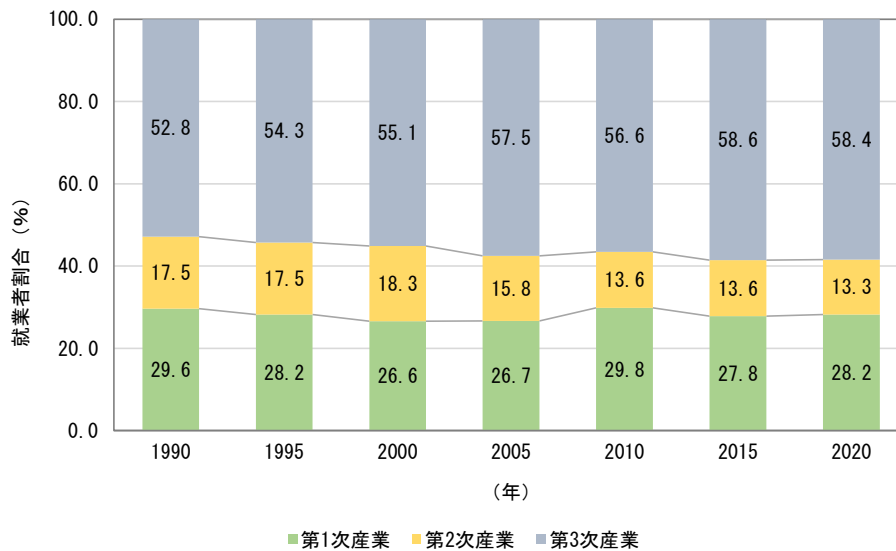
(1) 産業別就業人口

本市は、産業就業者数の合計は平成2（1990）年の11,950人をピークに減少しており、令和2（2020）年には8,493人となっています。産業別では第3次産業の就業者数が最も多く、令和2（2020）年には4,961人と全就業者数の58.4%を占めています。また、どの産業においても就業者数の減少がみられますが、第3次産業と比較すると第1・2次産業の就業者数が、より減少していることが分かります。



出典：総務省統計局「国勢調査」

図 3-13 産業別就業者数



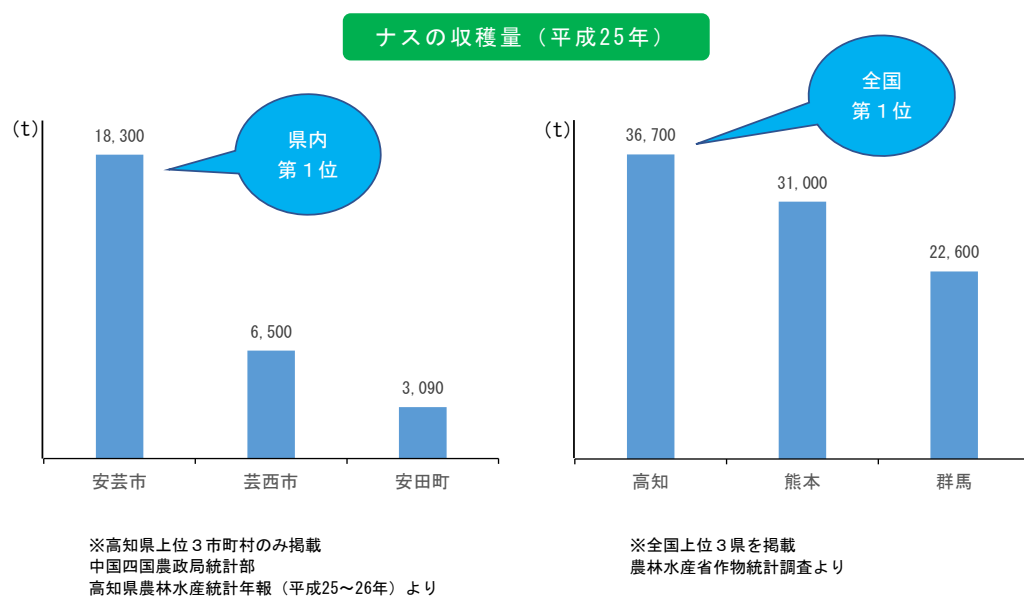
出典：総務省統計局「国勢調査」

図 3-14 産業別就業者数の割合

(2) 農業

豊富な水、長い日照時間や温暖な気候を利用して、ビニールハウスの中で作物を栽培する施設園芸が盛んで、ナス、ピーマン、ミョウガ、花きなどが栽培されています。特に、冬春ナスの生産が盛んで、全国有数の産地となっています。

また、中山間地域ではユズを中心とした果樹栽培も行われており、全国有数の産地となっています。さらに、全国に先駆けて環境保全型農業に取り組んでおり、化学合成農薬だけに頼らない天敵昆虫を利用した病虫害防除など、環境への負荷を軽減した農業が行われています。



出典：安芸市HPを基に作成

図 3-15 ナスの収穫量

(3) 林業

高知県の森林率（区域に占める森林の面積割合）は84%であり全国一位となっています。本市はその高知県の中でもさらに高い89%という森林率を持つ森林資源豊かなまちです。この森林は、林業・木材産業を支え、生物多様性の保全や二酸化炭素の吸収・貯蔵による地球温暖化の防止、水源かん養機能、レクリエーションのための空間提供など多面的な機能を持っており、自然環境・産業経済・生活文化の源となっています。

しかし、長期的な木材価格の低迷にともなう森林経営意欲の低下や、林業就業者の高齢化、担い手不足等により、適切な間伐等の森林整備が行われていない森林が増加しており、森林の持つ多面的な機能が十分に発揮されない状況があります。

このため、林業の成長産業化の実現と森林資源の適正な管理の両立を図り、森林整備の推進、人材の確保・育成、木材利用の促進・普及啓発、森林教育、森林に親しむ機会を創出するなどの本市独自の取組を森林環境譲与税も活用しながら推進していくため、その指針となる「安芸市流域森づくり構想」を策定しました。

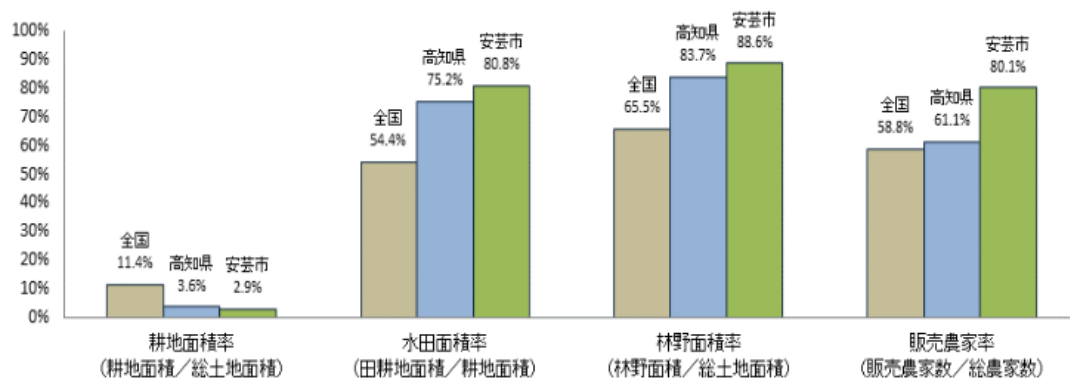


出典：安芸市HP

図 3-16 「安芸市流域森づくり構想」

(4) 水産業

安芸市沿岸では、市内を流れる安芸川、伊尾木川の2つの河川により、イワシシラス（イワシの稚魚）の好漁場が形成されており、機船船びき網の操業が盛んです。その他にも、かつおやまぐろ類などの一本釣り漁やたて網漁などの漁業が営まれています。

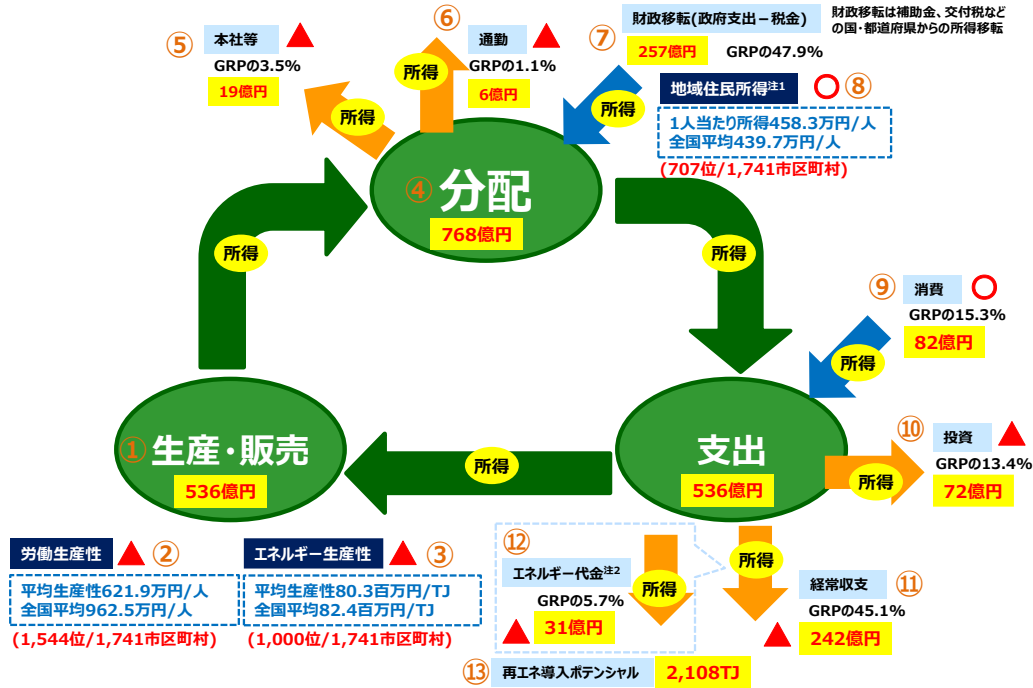


出典：農林水産省「グラフと統計でみる農林水産業」

図 3-17 各産業に関する情報

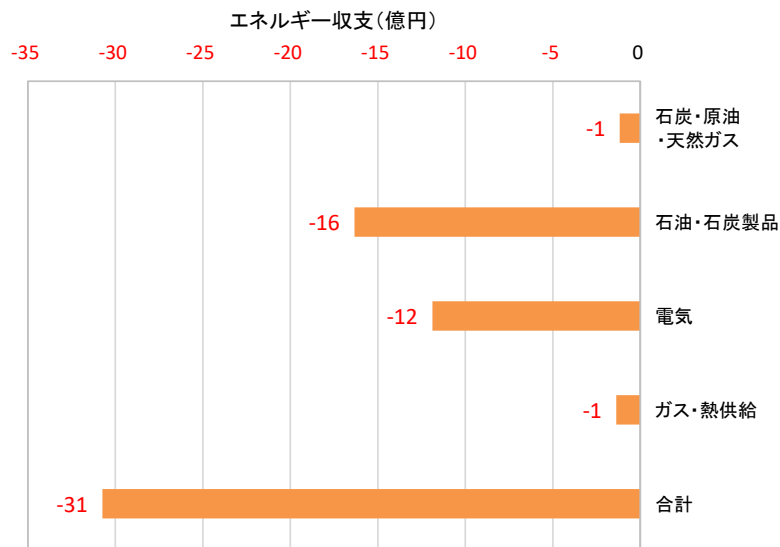
3.2 地域内経済循環

本市では、エネルギー代金の支出が 31 億円となっており、特に、石油・石炭製品のエネルギー支出が多いことから、エネルギーの自給自足による地域内経済循環が求められています。



出典：環境省「地域経済循環分析ツール」

図 3-18 安芸市の経済循環構造 (2018年)



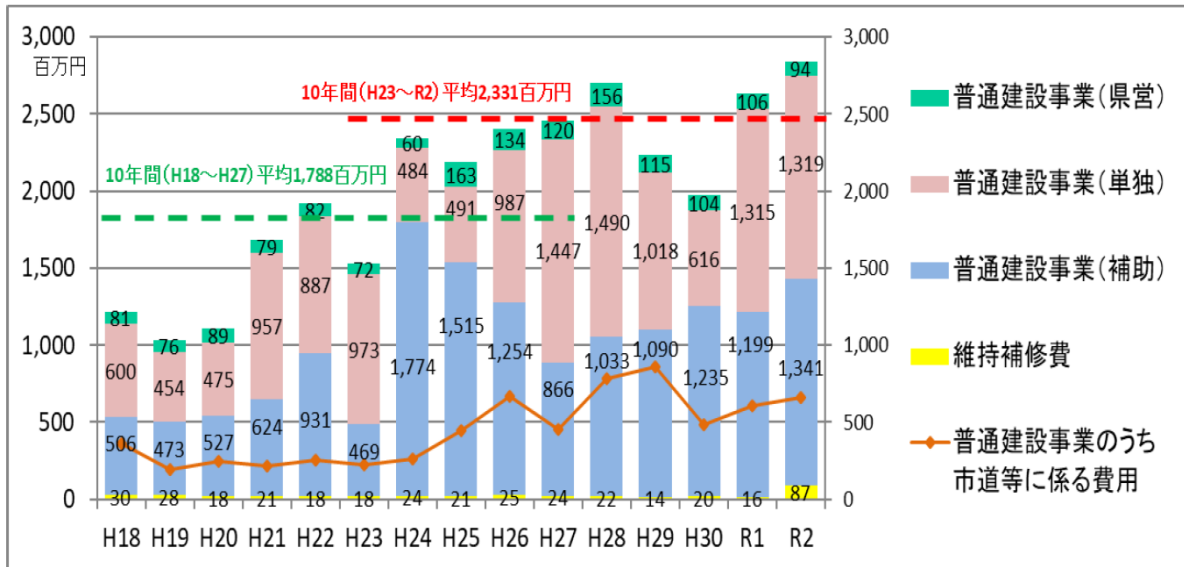
出典：環境省「地域経済循環分析ツール」

図 3-19 安芸市のエネルギー収支 (2018年)

3.3 公共施設の更新

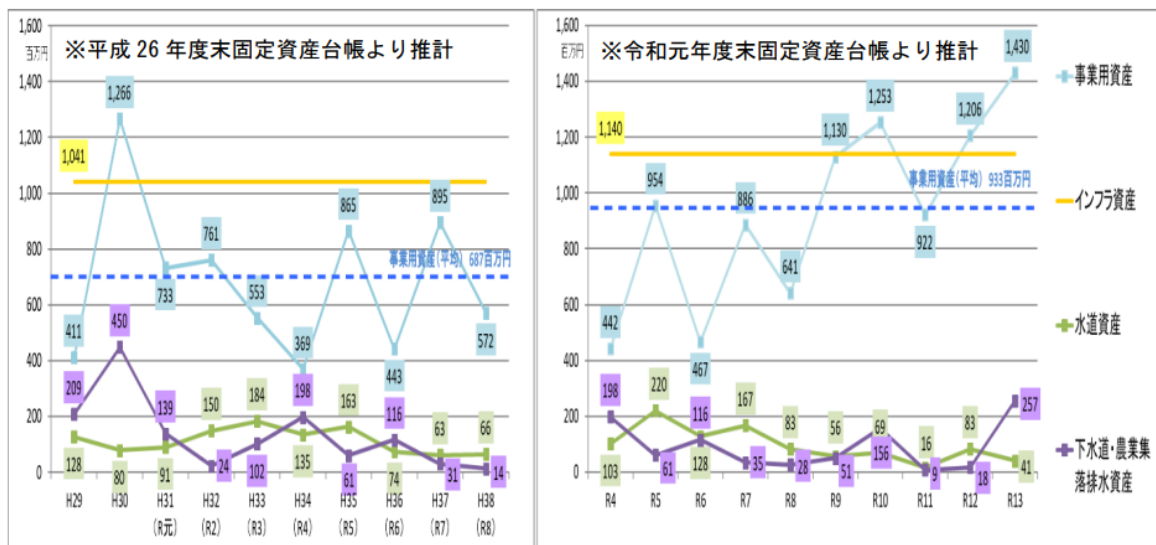
維持補修費と普通建設事業費の合計額は、平成 18（2006）年から平成 27（2015）年の 10 年間に於いて約 17 億円、平成 23（2011）年から令和 2（2020）年の 10 年間に於いて約 23 億円と増加しています（図 3-20）。これは、普通建設事業費を圧縮してきたことによる施設の更新や老朽化対策が不十分であった状況が影響を及ぼしています。

今後、長寿命化等を計画的に行うことによる財政負担の軽減・平準化や公共施設等の最適な配置の実現が求められています。



出典：安芸市「安芸市公共施設等総合管理計画」

図 3-20 維持補修費と普通建設事業費の推移



出典：安芸市「安芸市公共施設等総合管理計画」

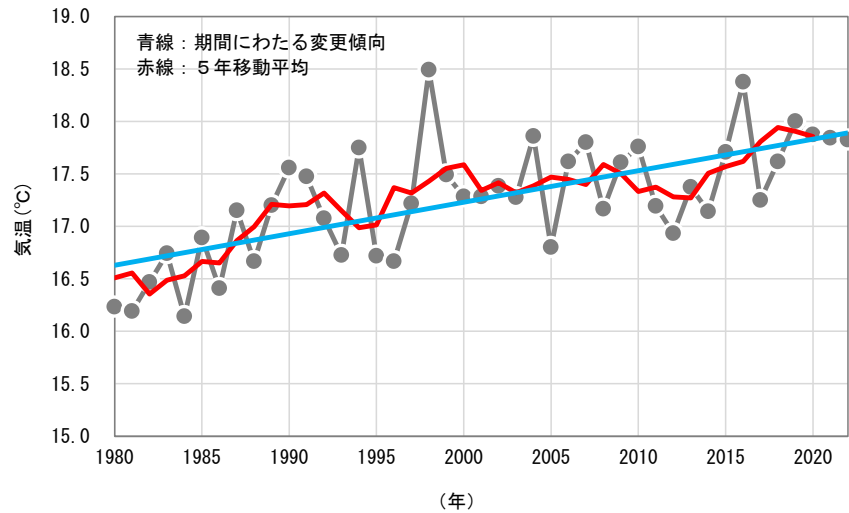
図 3-21 更新費用の推移

4 環境的特性

4.1 気候

(1) 年平均気温

本市の年平均気温は、昭和 55（1980）年～令和 4（2022）年において約 1.0℃上昇しています。

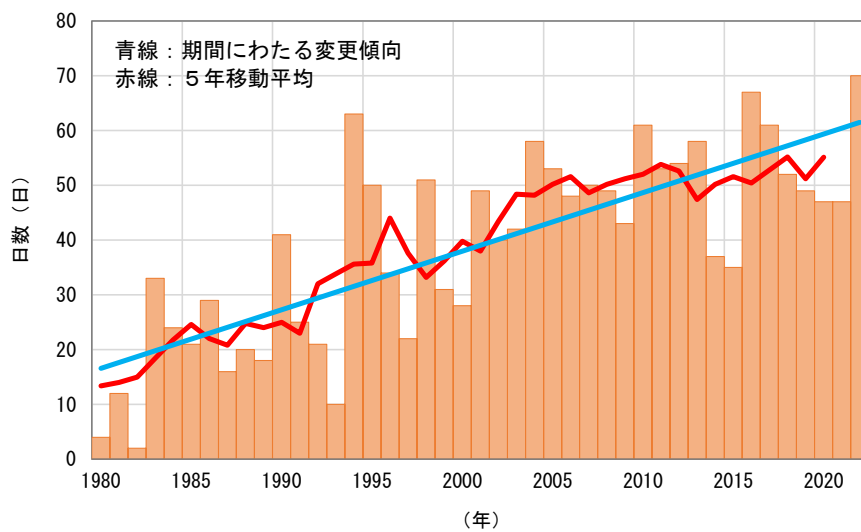


出典：気象庁HP（安芸観測所）

図 3-22 年平均気温

(2) 真夏日（日最高気温 30℃以上の日数）

本市の真夏日（日最高気温 30℃以上の日）は、昭和 55（1980）年～令和 4（2022）年において約 40 日増加しています。

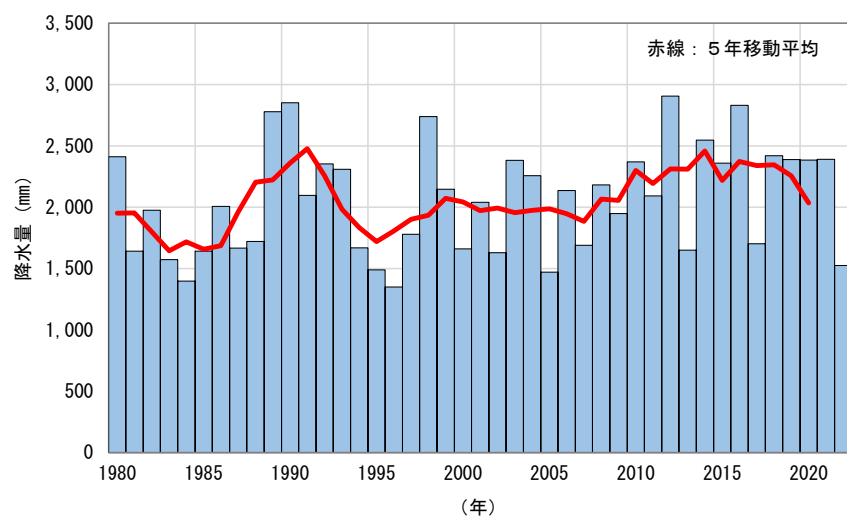


出典：気象庁HP（安芸観測所）

図 3-23 真夏日（日最高気温30℃以上の日）の日数

(3) 年降水量

本市の昭和 55（1980）年～令和 4（2020）年における平均年間降水量は 2,056mm となっています。



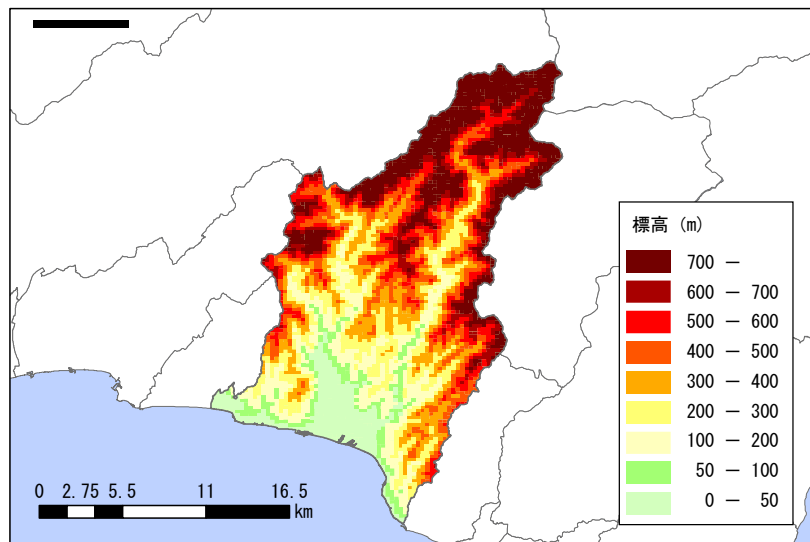
出典：気象庁HP（安芸観測所）

図 3-24 年降水量

4.2 地形

(1) 標高

本市は山地・丘陵地が多い地形となっています。市の中心部は安芸川を中心に安芸平野が形成されています。

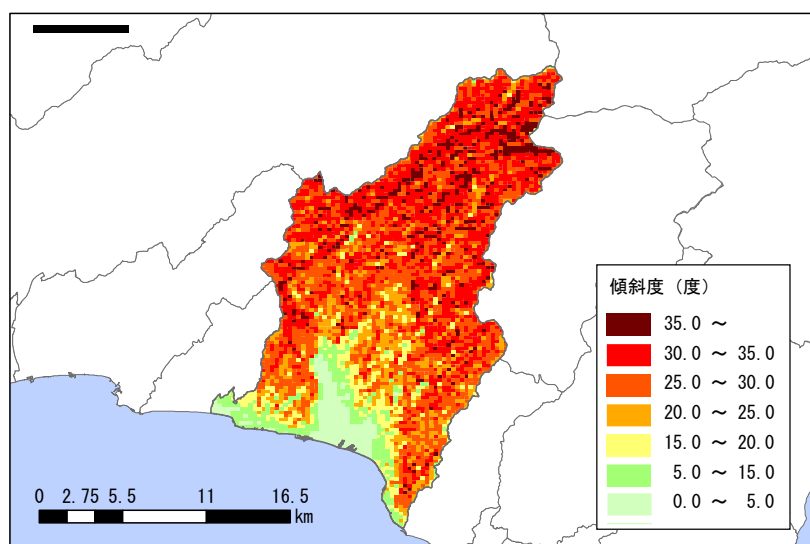


出典：国土交通省「国土数値情報」を基に作成

図 3-25 標高

(2) 傾斜

本市は、傾斜度が 20 度以上の土地が約半分を占めています。



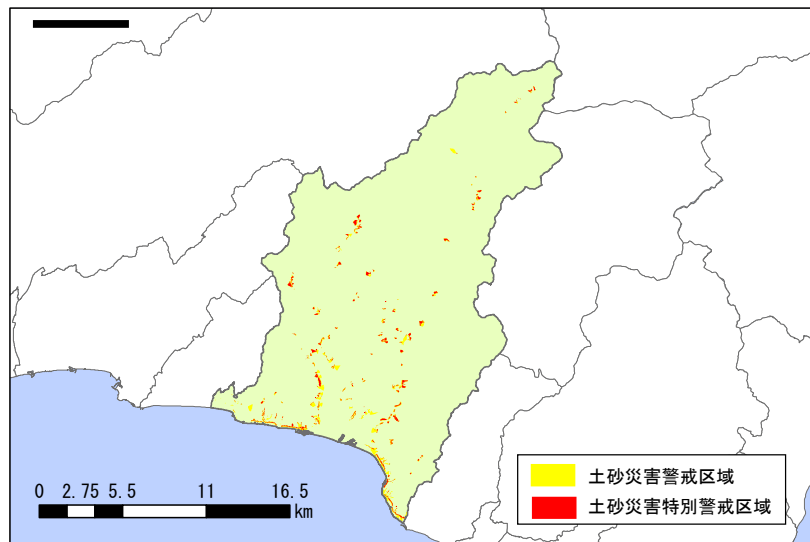
出典：国土交通省「国土数値情報」を基に作成

図 3-26 傾斜度

4.3 災害

(1) 土砂災害

土砂災害警戒区域は市内に分散している一方で、いずれも範囲が狭いです。しかしながら地震・大雨等の災害時には警戒が必要です。

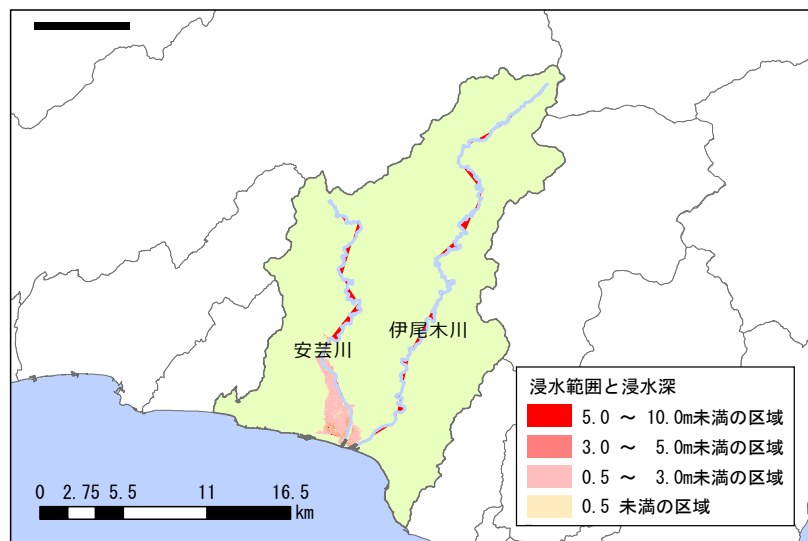


出典：国土交通省「国土数値情報」を基に作成

図 3-27 土砂災害警戒区域

(2) 洪水浸水

本市は、想定し得る最大規模の降雨により安芸川が氾濫し、その周辺の区域は浸水する恐れがあります。

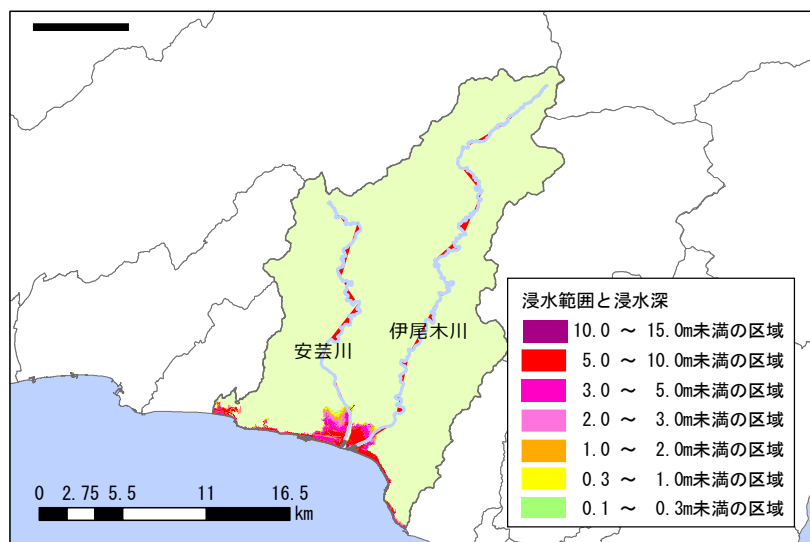


出典：国土交通省「国土数値情報」を基に作成

図 3-28 洪水浸水想定最大規模浸水区域・浸水深

(3) 津波浸水

本市では、市街地の位置する海岸隣接地区では浸水深最大 10.0m～15.0m の浸水危険区域が存在し、安芸駅周辺では浸水深 3.0m～5.0m、中心市街地周辺では浸水深 5.0m～10.0m の区域が存在します。



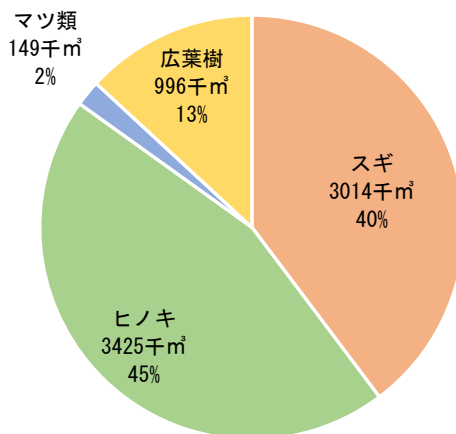
出典：国土交通省「国土数値情報」を基に作成

図 3-29 津波浸水想定区域・浸水深

4.4 自然・植生

(1) 森林

市域に占める森林面積の割合(森林率)は89%であり、全国一位である高知県の84%をさらに上回るほど豊富な森林資源を有しています。そのうち、ヒノキやスギが大部分を占めており、本市の主要な樹種となっています。



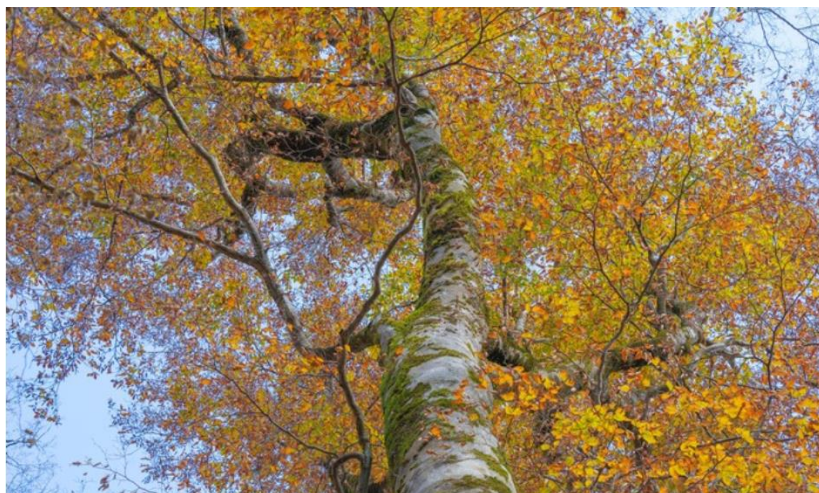
出典：高知県「令和5年度高知県の森林・林業・木材産業」を基に作成

図 3-30 樹種別蓄積割合

(2) 千年の森（彌太郎の森）

安芸市別役地域にある三菱商事株式会社の社有林 143ha と安芸市の市有林 69ha が、「三菱商事 千年の森（通称：彌太郎の森）」として環境省の自然共生サイトに認定されました。

「彌太郎の森」は、四国にある剣山を中心とした東西、南方面にのびる国有林野をつなぐ延長約 58km、幅約 2 km の回廊状のエリア（「四国山地緑の回廊」）に連結していて、地域的に孤立している個体群で特にその規模が極めて小さく絶滅の恐れがあるツキノワグマなどの希少な野生生物の移動経路として機能しています。



出典：安芸市HP

図 3-31 自然共生サイトに認定された市有林（天然のブナ林）

5 地域特性のまとめ

本章で整理した地域特性について、表 3-2 の通りに整理しました。本計画ではこれらの地域特性との関連性も考慮しつつ、脱炭素化に向けた取り組みを検討します。

表 3-2 地域特性のまとめ

項目	特徴	課題
社会的特性	● 貨物自動車の台数割合が高い（全国比） ● 観光資源が点在	● 人口減少 ● 少子高齢化 ● 自動車依存 ● 公共交通の運行本数が少なく不便
経済的特性	● 盛んな施設園芸（ナス、ピーマン、ミョウガ、花き等） ● 環境保全型農業 ● ユズ栽培 ● パッチ網によるイワシシラス漁 ● 多様な林業関連産業（製材所、建材屋等）	● 就業者数の減少（特に第1・2次産業） ● 林業従事者の高齢化・担い手不足 ● 働く場の少なさ ● エネルギー代金の域外流出 ● 公共施設の最適配置 ● サービス業の閉業加速化
環境的特性	● 豊かな森林資源（森林率89%） ● 豊富な水資源（安芸川、伊尾木川等） ● 温暖な気候 ● 降雨が多い ● 山地・丘陵地が多い地形	● 地震・大雨等による土砂災害 ● 河川・津波による浸水